



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 亀田製菓株式会社

コード番号 2220 URL <http://www.kamedaseika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 COO (氏名) 佐藤 勇

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 藤崎 哲也

TEL 025-382-2111

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|------|-------|------|------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第1四半期 | 22,452 | 0.2 | 500 | 31.4 | 775 | 27.0 | 465 | 34.8 |
| 27年3月期第1四半期 | 22,399 | 3.3 | 381 | 123.8 | 610 | 33.3 | 345 | △32.7 |

(注)包括利益 28年3月期第1四半期 667百万円 (306.1%) 27年3月期第1四半期 164百万円 (△83.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 22.09 | — |
| 27年3月期第1四半期 | 16.39 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第1四半期 | 66,975 | 43,803 | 65.0 | 2,063.31 |
| 27年3月期 | 68,045 | 43,886 | 63.6 | 2,053.87 |

(参考)自己資本 28年3月期第1四半期 43,507百万円 27年3月期 43,307百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 13.00 | — | 18.00 | 31.00 |
| 28年3月期 | — | — | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | 14.00 | — | 21.00 | 35.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 46,000 | 2.7 | 1,000 | 26.8 | 1,600 | 28.3 | 900 | 24.0 | 42.68 |
| 通期 | 98,000 | 3.3 | 5,000 | 24.0 | 6,100 | 18.3 | 4,000 | 18.7 | 189.70 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年3月期1Q | 22,318,650 株 | 27年3月期 | 22,318,650 株 |
| 28年3月期1Q | 1,232,566 株 | 27年3月期 | 1,232,566 株 |
| 28年3月期1Q | 21,086,084 株 | 27年3月期1Q | 21,086,636 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融政策を背景に、企業収益や雇用環境が改善するなど緩やかな回復基調で推移しました。一方、食品業界においては、個人消費の持ち直しの兆しがみられるものの、円安による原材料価格の上昇や、人手不足による労働コストの上昇など、引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況下、当グループは、平成27年度からの3年間を、長期ビジョン「グローバル・フード・カンパニー」の実現（平成32年度）に向けた道筋を盤石なものとする改革期間と位置づけ、更なるブランドの強化と企業価値の一層の向上に努めております。

初年度である平成27年度は、「規模と質の成長を果たす」ことを目標に掲げ、「米菓事業の主力4ブランドを軸としたお客様視点の商品政策の実行」「北米及びアジア市場での販売拡大」「健康機能関連事業の取り組み強化と、玄米、米タンパク質の研究推進」「グループシナジー発揮による企業価値の最大化」の4つを基本政策として取り組んでおります。

米菓については、国内米菓市場が前年並みで推移している中、当社はブランド維持・向上の観点から、価格競争と一線を画し、「亀田の柿の種」「ハッピーターン」「亀田のまがりせんべい」「手塩屋」の主力4ブランドを中心に資源を集中投下し、テレビCMや消費者キャンペーンなど、積極的な販売促進活動を展開いたしました。

特に、「亀田の柿の種」ブランドは、「亀田の柿の種スパイスカレー」や「亀田の柿の種ソースマヨ味」などの期間限定商品の販売が好調に推移するなど、売上高は前年同期を上回りました。さらに、柿の種専門店「かきたねキッチン」で発売したフライドポテト風味の柿の種「かきたねポテト」はお客様に高い支持を得ることができました。また、「つまみ種」「うす焼」「揚一番」の各ブランドも同様に前年同期を上回りました。

加えて、前年度まで育成ブランドであった「技のこだ割り」は、主力ブランドとして位置づけ売上を拡大しました。

海外においては、Mary's Gone Crackers, Inc. が米国のオーガニック、グルテンフリー市場の成長を背景に堅調に推移するとともに、KAMEDA USA, INC. は商品のラインアップ拡大もあり売上高は前年同期を上回りました。また、中国国内における柿の種の市場拡大に取り組まれました。

健康機能関連では、当社が保有するコメ由来の植物性乳酸菌の販売が好調に推移したほか、腎臓病患者向け低たんぱく質米飯は、少量タイプの発売を通じ需要の拡大を図りました。

これらの取り組みの結果、売上高は22,452百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

利益面については、円安による一部原材料価格の上昇や販売促進費の増加などのコスト増加要因はありましたが、連結子会社の収益改善に加え、主原料が比較的安定した価格で推移したことにより、営業利益は500百万円（前年同期比31.4%増）となりました。

また、持分法適用関連会社である米国のTH FOODS, INC. とベトナムのTHIEN HA KAMEDA, JSC. からの持分法による投資利益が増加し、経常利益は775百万円（前年同期比27.0%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は465百万円（前年同期比34.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は20,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,264百万円減少しました。これは主に「その他」が366百万円増加した一方、「現金及び預金」が187百万円、「受取手形及び売掛金」が1,433百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は46,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ193百万円増加しました。これは主に有形固定資産の「その他」が629百万円増加した一方、有形固定資産の「建物及び構築物」が130百万円、「機械装置及び運搬具」が67百万円、無形固定資産の「のれん」が66百万円、投資その他の資産の「その他」が128百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、66,975百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,070百万円減少しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は16,374百万円となり、前連結会計年度末に比べ634百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」が772百万円増加した一方、「支払手形及び買掛金」が226百万円、「未払法人税等」が293百万円、「その他」が834百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は6,797百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円減少しました。これは主に「その他」が49百万円増加した一方、「長期借入金」が250百万円、「退職給付に係る負債」が154百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、23,171百万円となり、前連結会計年度末に比べ986百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は43,803百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円減少しました。これは主に「その他有価証券評価差額金」が197百万円増加した一方、「非支配株主持分」が282百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は65.0% (前連結会計年度末は63.6%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が98,621千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|-----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,601,646 | 4,414,208 |
| 受取手形及び売掛金 | 11,389,365 | 9,955,767 |
| 商品及び製品 | 2,198,953 | 2,114,202 |
| 仕掛品 | 677,462 | 784,900 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,198,679 | 2,166,138 |
| その他 | 1,144,475 | 1,510,673 |
| 貸倒引当金 | △7,163 | △6,735 |
| 流動資産合計 | 22,203,420 | 20,939,157 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 9,645,374 | 9,514,752 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 11,003,598 | 10,935,854 |
| その他(純額) | 8,065,151 | 8,695,150 |
| 有形固定資産合計 | 28,714,123 | 29,145,757 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,474,772 | 2,407,794 |
| 顧客関係資産 | 2,470,717 | 2,424,557 |
| 商標資産 | 1,812,359 | 1,768,133 |
| 技術資産 | 960,120 | 938,309 |
| その他 | 889,602 | 882,034 |
| 無形固定資産合計 | 8,607,571 | 8,420,829 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,713,488 | 7,791,297 |
| その他 | 860,125 | 731,184 |
| 貸倒引当金 | △53,085 | △53,085 |
| 投資その他の資産合計 | 8,520,528 | 8,469,396 |
| 固定資産合計 | 45,842,223 | 46,035,983 |
| 資産合計 | 68,045,644 | 66,975,141 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,858,380 | 3,632,046 |
| 電子記録債務 | 2,084,112 | 2,262,695 |
| 短期借入金 | 2,319,145 | 2,247,554 |
| 未払法人税等 | 624,009 | 330,764 |
| 賞与引当金 | 1,248,086 | 2,020,742 |
| その他の引当金 | 559,600 | 399,799 |
| 資産除去債務 | 70,482 | 70,514 |
| その他 | 6,244,359 | 5,409,912 |
| 流動負債合計 | 17,008,174 | 16,374,030 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,600,000 | 2,350,000 |
| 退職給付に係る負債 | 1,623,470 | 1,469,063 |
| 資産除去債務 | 164,999 | 166,687 |
| その他 | 2,762,196 | 2,812,088 |
| 固定負債合計 | 7,150,667 | 6,797,840 |
| 負債合計 | 24,158,842 | 23,171,870 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,946,132 | 1,946,132 |
| 資本剰余金 | 486,533 | 387,911 |
| 利益剰余金 | 37,442,236 | 37,528,407 |
| 自己株式 | △1,889,561 | △1,889,561 |
| 株主資本合計 | 37,985,339 | 37,972,888 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,211,479 | 1,409,059 |
| 繰延ヘッジ損益 | 1,778 | 4,516 |
| 為替換算調整勘定 | 2,848,968 | 2,900,498 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,260,431 | 1,220,202 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,322,658 | 5,534,277 |
| 非支配株主持分 | 578,804 | 296,104 |
| 純資産合計 | 43,886,802 | 43,803,270 |
| 負債純資産合計 | 68,045,644 | 66,975,141 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 22,399,537 | 22,452,847 |
| 売上原価 | 12,959,310 | 12,832,170 |
| 売上総利益 | 9,440,227 | 9,620,677 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,059,144 | 9,120,111 |
| 営業利益 | 381,083 | 500,565 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,168 | 2,443 |
| 受取配当金 | 20,052 | 17,403 |
| 持分法による投資利益 | 176,225 | 252,989 |
| その他 | 69,721 | 33,468 |
| 営業外収益合計 | 269,168 | 306,306 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 10,580 | 7,727 |
| 為替差損 | 17,568 | 13,408 |
| その他 | 11,487 | 10,300 |
| 営業外費用合計 | 39,637 | 31,437 |
| 経常利益 | 610,614 | 775,434 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 45,529 | 80,125 |
| 特別損失合計 | 45,529 | 80,125 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 565,084 | 695,308 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 468,784 | 349,294 |
| 法人税等調整額 | △230,081 | △112,310 |
| 法人税等合計 | 238,702 | 236,983 |
| 四半期純利益 | 326,381 | 458,325 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △19,133 | △7,394 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 345,514 | 465,720 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 326,381 | 458,325 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 107,295 | 198,902 |
| 繰延ヘッジ損益 | 3,945 | 2,738 |
| 為替換算調整勘定 | △203,584 | △46,061 |
| 退職給付に係る調整額 | △20,013 | △40,229 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △49,756 | 93,446 |
| その他の包括利益合計 | △162,113 | 208,796 |
| 四半期包括利益 | 164,267 | 667,122 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 195,829 | 677,339 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △31,561 | △10,217 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。これに伴う影響は、(会計方針の変更)に記載のとおりであります。